

## 新型インフルエンザ等の対応ガイドライン

### 1. 参加選手について

- (1) 保護者が事前に健康診断等を受診させるなどして、健康状態に異常がないことを確認し、参加を承認した生徒で、中学生の場合は在学する学校の校長、小学生の場合はチームの監督（以下、「チーム責任者」という。）が参加を承認した生徒が参加資格を有する。
- (2) ガイドライン（大会への参加）を遵守できる生徒が参加資格を有する。

### 2. 大会について

- (1) 大会日程については、要項を参照。  
ただし、一部を変更し、開会式、閉会式は行わないこととする。
- (2) 賞状および優勝カップについては、大会終了後に各校で持ち帰る。
- (3) 大会終了後、顧問・各チーム役員で観客席等の消毒を行う。

### 3. 大会への参加について

- (1) 参加者、大会役員等は、大会当日に「チェックシート」を記入し、氷見市ハンドボール協会に提出すること。チェックシートは、万が一、感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意して、氷見市ハンドボール協会にて大会終了後、1ヶ月間保存する。
- (2) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
  - a. 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - b. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - c. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
  - d. 濃厚接触者と判断されていないが、医師の判断により、感染の疑いがあるためPCR検査または抗原検査を受け、検査結果が判明していない場合及び、今後PCR検査または抗原検査を受ける予定のある場合 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者は、氷見市ハンドボール協会に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

### 4. 大会中の注意事項等について

- (1) マスクを持参することとし、参加受付時や着替え等の競技を行っていない際や、会話する際（トスの時）にはマスクを着用すること。  
なお、メインフロアはマスクを外してもよい。マスクの管理については各チームで確認しておく。
- (2) 競技の前後は、必ず手洗いおよびマスク着用を行う。
- (3) 他の参加者、大会役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- (4) 観客席では、席を前後左右1つ空けて座ること。
  - a. 各チームの座席を指定席とし、保護者が応援で使用する座席と区別する（別紙座席表参照）。
  - b. 昼食時の会話を避ける。
- (5) 大会中のミーティングにおいても、3つの密を避けること。
- (6) 試合後に大会役員（MO、TD等）がベンチ及びボールを消毒する。

- (7) 選手、チーム役員、レフェリー、大会役員（MO、TD等）は、試合前後の握手およびあいさつを取りやめる。
- (8) コートの準備は、第一試合目、第二試合目のチームで行う。その後、第一試合目のチームはアップを行う。
- (9) アップ場所屋内について、メインアリーナは試合前のチームが使用する。ランニングコースを使用してもよいが、密を避けること。
- (10) 選手の飲み物は、回しのみをしない。個人の水筒・ペットボトルを使用する。
- (11) ベンチ内では大きな声援やかけ声は無しとする。ただし、チーム役員（監督・顧問・コーチ）は選手に指示を出すことができる。

## 5. 保護者・生徒等の観戦等について

- (1) 試合観戦する保護者は、**1階入り口で受付に健康チェックシートを提出する。**  
 なお、試合観戦のために観客席に入館できる人数制限は、**1チーム30名まで**とする。  
 (注)観客席1ブロックの座席数…約45席前後
- (2) 保護者は、大会開催時間中、生徒及びチームとできる限り接触しない。
- (3) 観戦する保護者・学校関係者は、応援席（ゴール後方の指定された場所）で1つ座席を空けて使用する。また、観戦する生徒（登録選手及び、登録選手以外の部員）は、各チームの指定された座席で観戦する。※自チームの試合の際も応援席で保護者と一緒に観戦しない  
 観戦者は、左右前後1つ座席を空けて使用する。  
鳴り物の使用や声を出しての応援は禁止とし、拍手のみとする。

## 6. 生徒の家族や身近な知人が濃厚接触者と特定された場合

- (1) 大会日が当該生徒の出席停止期間にある場合は、大会に出場できない。
- (2) 当該生徒がいるチームの出場の可否については、チーム責任者がチーム内の生徒の活動状況や出席状況、接触状況、健康状態等を総合的に判断し決定する。

### ◎濃厚接触者の定義【国立感染症研究所感染症疫学センター】

患者の感染可能期間※に接触した者のうち、次の範囲に該当する者

- ・患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ・適切な感染防護無しに患者を診察、看護若しくは介護していた者
- ・患者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、患者と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染症を総合的に判断する。）

※感染可能期間

新型コロナウイルス感染症を疑う症状（発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など）を呈した2日前から隔離開始までの間

【参考】「県立学校における教育活動の再開及び再開後の対応について」富山県教育委員会教育長通知R2.5.27

## 7. 生徒が濃厚接触者と特定された場合

- (1) 大会日が当該生徒の出席停止期間にある場合は、大会に出場できない。

【参考】「県立学校における教育活動の再開及び再開後の対応について」富山県教育委員会教育長通知R2.5.27

## 8. 生徒が感染した場合

- (1) 大会日が当該生徒の出席停止期間にある場合は、大会に出場できない。

【参考】「県立学校における教育活動の再開及び再開後の対応について」富山県教育委員会教育長通知R2.5.27

## 9. 学校が臨時休業した場合

- (1) 生徒が所属する学校が新型コロナウイルス感染に関係した臨時休業（全部又は一部）の措置を実施している期間と大会日が重なった場合は、当該学校の生徒は大会に出場できない。
- (2) 生徒が所属する学校が感染拡大を予防するための休業措置（例：参加校に感染者がいなくても市町村教委の判断等で域内の学校が休業する等）の場合も、当該学校の生徒は大会に出場できない。
- (3) 会場校が臨時休業（全部又は一部）の措置を実施している期間と大会日が重なった場合は、会場や日時の変更、競技の中止を検討する。

【参考】「県立学校における教育活動の再開及び再開後の対応について」富山県教育委員会教育長通知R2.5.27

## 10. 大会役員の取扱いについて

- (1) 大会に関わる大会役員の取扱いは、上記1～9に準じた対応とする。

【参考】「県立学校における教育活動の再開及び再開後の対応について」富山県教育委員会教育長通知R2.5.27

## 11. 大会の中止について

- (1) 県が定める「コロナに関する県のロードマップ」で「ステージ3」が発令された場合は、大会の延期または中止を検討する。

## 12. その他

- (1) 会場を公共施設としており、会場が新型コロナウイルス感染に関係した臨時休業等の措置を実施した場合は、上記9項(3)に準じた対応とする。

以上これらのことを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

以 上